

計画の名称	掛斐川町における快適な生活環境の実現																
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)						交付対象	掛斐川町									
計画の目標	掛斐地区において下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																
計画の成果目標（定量的指標）																	
①掛斐地区における下水道による管渠施設の整備率を0.0％（H24）から80.0％（H28）に向上させる。 ②掛斐地区における下水道による処理施設の整備率を0.0％（H24）から55.9％（H28）に向上させる。																	
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値			備考				
① 掛斐地区における下水道による管渠施設の整備率 整備完了済み面積(ha)／下水道整備を必要とする事業計画区域面積(ha) ② 掛斐地区における下水道による処理施設の整備率 整備済みの施設数 ／ 処理施設全体の施設数										当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H26末)	最終目標値 (H28末)	掛斐地区計画処理人口 1,112人				
										0%	51%	80%					
										0%	15%	56%					
全体事業費		合計 (A+B+C)	2,872 百万円 2,060.19百万円	A	2,872 百万円 2,060.19百万円	B	－ 百万円	C	－ 百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)		0.0％ 0.0％					
上段：計画 下段：実績																	
事後評価（中間評価）																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価（中間評価）の実施体制										事後評価（中間評価）の実施時期							
掛斐川町役場 産業建設部 上下水道課										平成29年9月							
										公表の方法							
										掛斐川町ホームページにて公表							
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業 上段：計画 下段：実績（小数点第3位を四捨五入）																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H24	H25	H26	H27	H28		
掛斐処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	掛斐川町	直接	掛斐川町	汚水	新設	掛斐地区幹線面整備（未普及解消）	φ=150～400mm L=24km φ=150～400mm L=12.4km	掛斐川町						1,714 886.78	
A1-1-2	下水道	一般	掛斐川町	直接	掛斐川町	水処理	新設	掛斐浄化センター水処理施設（水質保全）	水処理施設（1,200m3/日） 水処理施設（1,200m3/日）	掛斐川町						1,047 1,068.31	
A1-1-3	下水道	一般	掛斐川町	直接	掛斐川町	汚泥処理	新設	掛斐浄化センター汚泥処理施設（資源循環）	汚泥処理施設（1.5t／日） 汚泥処理施設（1.5t／日）	掛斐川町						106 105.10	
A1-1-4	下水道	一般	掛斐川町	直接	掛斐川町		全種	効率的な事業実施のための検討等	調査検討資料作成 1式 調査検討資料作成 1式	掛斐川町						5 0	
小計（下水道事業）																2,872 2,060.19	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H24	H25	H26	H27	H28			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況						
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		①揖斐地区における下水道による管渠施設の整備率が向上した。 ②揖斐地区における下水道による処理施設の整備率が向上した。 以上により、事業効果は発現されたと考えられる。				
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標① 揖斐地区における 下水道管渠施設 の整備率	最終目標値	80.0%	目標値と実績値 に差が出た要因	当初計画では、整備率80%を目標としていたが、下水道管渠整備において支障水道管移転工事の予算確保（水道予算）及び調整により事業進捗が遅れた。目標の達成に向け、管渠整備については次期計画で引き続き推進する。	
		最終実績値	51.6%			
	指標② 揖斐地区におけ る下水道処理施設 の整備率	最終目標値	55.9%	目標値と実績値 に差が出た要因		
		最終実績値	55.9%			
			最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
			最終実績値			
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		平成30年度には管渠整備済み地域において一部供用開始が状態となり、事業効果が図れると考える。				
3. 特記事項（今後の方針等）						
揖斐処理区の公共下水道全面供用開始に向け、次期計画においても引き続き未普及解消事業を推進する。						